

## 保育計画成果報告書

法人名等	特定非営利活動法人さくらの森・親子サポートネット
施設名	さくらの森保育園
報告者（役職）	宮元純子（施設長）
住所・連絡先	神奈川県大和市桜森3-5-25
	☎ 046-259-5206
	E-mail sakurano.mori@nifty.com

○タイトル（保育計画）

自然の中で育つ

○主な助成備品

図鑑・本・リバーストーン

### 1. 保育計画策定の目的

相鉄線相模大塚駅の近くにさくらの森保育園があります。近隣には泉の森があり、恵まれた環境の中で五感を通した森の活動を主に、子どもたちの発達を見守っています。

泉の森では日本独特の美しい四季を通して、自然の移り変わりを全身で感じます。春は草花探し・夏は蟬の抜け殻の種類分け・秋は落ち葉や木の実集め・冬は森の明るさ暗さや鴨、霜柱など、季節によって様々な発見を楽しんでいます。

森の中には玩具がありません。自然物を見つけ、想像し、考えて遊ぶことが必要です。

木の切り株を使ってままごと遊び・長い枝で釣りごっこ・秘密基地作りなど、友だちとのかかわりを楽しみながら協力して取り組みます。また、木登り・崖登りでは、繰り返し遊ぶことで、できなかったことができるようになった喜びを味わう経験もできます。

遊びの中で発見したことや不思議に思った事を、自分たちですぐに調べることができるよう、図鑑や自然の本を購入しました。

今まで年間を通して活動する中で、夏場は熱中症に十分配慮しなければいけない状況があり活動を控えました。そのせいか、秋になり戸外活動を再開すると、子どもたちの体力の戻りがとても気になっていました。夏でも体を動かして遊べるよう、リバー石の購入もしました。

### 2. 具体的な実施内容

森の活動の中で気づいたことや発見したことを、保育園に帰って数人で図鑑を囲み、協力して調べる姿が見られました。学んだことを友だち同士で伝えたい、異年齢で楽しむこともできました。

カブトムシの幼虫を飼育の際には、ケースの横に図鑑のカブトムシが載っているページを開いて置いて見比べたり、図鑑を見ながら絵を描いたりしている子もいました。

また、小さい子も登園するとすぐに幼児クラスに来て、好きな図鑑を選び保育室に嬉しそうに持ち歩く姿もありました。

リバーストーンは、夏場以外にも室内で体を動かして遊びたい日に、保育室や廊下を使って設定して遊んだり、サーキットのような環境を作ったりするなど、工夫して楽しみました。



### 3. その成果と評価

環境を通して興味を持ったことや、どうして?と思う疑問を保育者に聞いて解決するのではなく、自分で調べようと思う気持ちを育てたいと思っています。図鑑を見ることで子どもたちの興味が広がり、知識も増えました。また、覚えたことを友だちに伝えるなど、友だちとの共有も楽しんでいました。知らなかったことを知った喜びや知っていたことを確認する気持ちを大切にしていきたいと思います。

リバーストーンでは発達によって遊び方も変わってきます。そっと乗ってじっと立つ・1歩前に足を出してみる・続けて乗ってみます。そのうちリズムをとりながら進み、片足でバランスをとります。落ちそうになっても体全体を使って持ち直して次に進みます。足の指や裏全部で踏みしめ、全身でバランスをとり平行感覚を養うと共に、身のこなし方も身につき、体力維持はもちろん、危険から身を守る力もつきます。

自然の中で育つことを保育の目標にしているさくらの森保育園にとって、図鑑・自然の本・リバーストーンは、とても大切な保育環境の1つとなりました。

#### 4. 今後の課題と展望

図鑑は年齢を問わず、小さい子でも興味を持ち楽しみながら見ることができ、購入できたことを大変嬉しく思います。しかし、森の中で気づいた時や不思議に思った時にすぐ見ることができればいいと思うこともしばしばあります。今後検討していきたいと思います。

また、本棚に絵本と一緒に図鑑が並んでいる環境でいいのか、子どもたちの様子を見ながら考えていきたいと思います。

リバーストーンは、今年度、秋からの森の活動を再開した時、保育者から子どもたちの体力の戻りに対して、これまで程報告はありませんでした。今後も利用していくにあたり、様々な発達を考慮した活動の取り入れ方や、安全面での配慮を保育者間で共有していきたいと思います。

今後も日々自然の中へ出かけ、子どもたちの発見や興味に耳を傾け、図鑑・自然の本を活用したり、子どもたちの体作りにリバーストーンを取り入れたりするなど、保育環境を考えていきたいと思います。

以上